

天井露出型スピーカー 防滴天井露出型スピーカー

型名 **SB-C106 / SB-C106AT**
SB-HC106 / SB-HC106AT-W / SB-HC106AT-B
※型名に AT が含まれているものは、アッテネータ付きモデルです。

—お買い上げありがとうございます—

ご使用前に、この「取扱設置説明書」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見ることができるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、お確かめください。

B5A-4224-10

<< 設置・接続は裏面をご覧ください。

保証とアフターサービス

■ 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。

1. 保証期間中、お取り扱いについての説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。お買い上げの販売店にご依頼ください。

2. 次のような場合には、保証期間内でも有料にさせていただきます。

- (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
- (2) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、などによる故障および損傷。
- (4) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
- (5) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張料。
- (6) 特殊な環境条件下での故障および損傷。
- (7) 各部の点検または定期保守の費用。

■ 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

■ サービス窓口

- ・ 下記 URL をご覧ください。
<https://jkpi.jvckenwood.com/support/repair>
- ・ 業務用製品修理窓口（045-939-7320）

■ サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱設置説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも具合が悪いときは、お買い上げ販売店またはサービス窓口にご相談ください。

品名／型名	天井露出型スピーカー SB-C106 / SB-C106AT 防滴天井露出型スピーカー SB-HC106 / SB-HC106AT-W / SB-HC106AT-B
お買い上げ日	
故障の状況	故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	

■ 商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  **0120-2727-87**

携帯電話  **0570-010-114**

一部のIP電話など **045-450-8950**

FAX **045-450-2308**

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

ホームページ <https://jkpi.jvckenwood.com/>

本文中の記号の見かた

ご注意 : 設置や使用上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

本書記載内容について


- ・ 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行なうことは禁じられています。
- ・ 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、© などのマークは省略してあります。
- ・ 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。
- ・ QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。


仕様



商品の仕様は QR コードまたは下記 URL の「データダウンロードコーナー」から機種名検索しダウンロードしてください。
<http://www32.jvckenwood.com/jvc/system/pro-dl/>
※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

 **警告** この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

警告

スピーカーから煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生したときは、そのまま使用しない

このようなときは、すぐにパワーアンプの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。煙が出ているときは、止まったのを確かめてからお買い上げ販売店またはサービス窓口にて修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

設置作業は販売店などに依頼する

設置作業は、専門的な知識や技術が必要になります。販売店または専門業者にご依頼ください。正しく設置しないと、落下によるけがや事故、感電や火災の原因になります。



取り付ける前に本機に異常がないか確認する

本機の樹脂部にひび割れや変形などの異常があった場合は、そのまま取り付けないで交換してください。長期使用での破損や落下事故の原因となります。

天井に取り付ける場合は、機器の重量に十分耐えられる強度を持った場所に取り付ける

本機の質量は、アッテネータ無しモデル約 0.7kg、アッテネータありモデル約 0.71kg です。化粧合板、石こうボード、プラスターボードなど、材質に強度が足りない場合は、補強材（ベニヤ合板など）を当てて補強してください。補強が不十分な場合は、落下し、けがの原因となります。

アンプの電源を切ってから設置、接続を行う

アンプの電源を切らずに作業を行うと、感電の原因となることがあります。

本機を分解したり、改造したりしない

感電、落下事故の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。

この機器の包装に使用している梱包箱・梱包袋・ポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない

遊びに使ったり頭からかぶったりすると、けがや窒息の原因となります。梱包箱・梱包袋・ポリ袋などは、施工後に回収してください。

長時間、音がはずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

注意

次のような場所に設置しない（非防滴・防滴共通）
火災や感電、本機の落下、誤動作、故障の原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるところ
- ・ 火気、熱器具の近くなど
- ・ 可燃性、引火性、揮発性ガスなどがあるところ
- ・ 屋内プールなどの塩素系薬剤を使用するところや、温泉などの腐食性ガスが発生するところ
- ・ 硫黄、塩素ガス、化学薬品によるガスが発生するところ
- ・ 強い振動のあるところ
- ・ 放射線やX線、および塩害や腐食性ガスの発生するところ

非防滴モデルは、次のような場所に設置しない

- ・ 湿気や砂・ほこり・粉じんの多いところ
- ・ 直接、風雨にさらされるところ
- ・ 窓ざわなど水滴の発生しやすいところ

防滴モデルは、次のような場所に設置しない

- ・ 砂・ほこり・粉じんの多いところ
- ・ 直接、風雨にさらされる場所（天井に接していない場合）



取付ねじやナットは、締め付けを確実にこなう
締め付けが不十分だと落下、けがの原因となることがあります。指定のサイズ、数量で確実に締め付けてください。また、台風や暴風雨など悪天候のあとには、ねじの緩みがないか点検し、落下の危険がないことを確認してください。（防滴モデルのみ）

落下防止ワイヤーを正しく取り付け

フロント部の落下防止ワイヤーは、必ずベース部の落下防止ワイヤー取付箇所確実に取り付けてください。

取り付けのロック機構をしっかりとロックする

取り付け前にロック機構に破損がないこと、取り付けたあとにしっかりとロックされていることを確認してください。ロックが十分でないで落下、けがや事故の原因となることがあります。

定期的に点検を行なう

必ず 1 年に一度は、取付部の劣化や振動によるねじやナットの緩み、落下防止ワイヤーの腐食、劣化がないことを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。

取扱設置説明書に記載されていることに従って設置する

取扱設置説明書に従わない不完全な取り付けにより発生した事故や損害については、当社は責任を負いかねますので、設置には十分な注意をお願いします。

正しくお使いいただくためのご注意

- ・ 接続するスピーカーの合成インピーダンスは、使用するアンプの負荷インピーダンス以上になるようにしてください。
- ・ 使用するアンプは、ハイインピーダンスに対応したものを使用してください。
- ・ 複数のスピーカーを使用する場合、スピーカーの極性をすべて合わせてください。
- ・ 防滴モデルを傾きのある面に設置する場合は、本体の天面に表示の矢印が上を向くよう設置してください。ただし、防滴モデル、非防滴モデル共に傾きが水平から 45° 以上の場所に設置しないでください。
- ・ IPX4 の防水性能が必要な環境に設置するときは、配線用孔から水が入らないように処理してください。ただし、防水処理されたスイッチボックスを使用する場合はコーキングの必要はありません。
- ・ IPX5 の防水性能が必要な環境に設置するときは、天井面と接するように設置し、接する周囲とモール部分をコーキングしてください。
- ・ 防滴モデルはクリーンルームに対応しています。天井に配線用の穴をあけた場合は、穴の隙間をコーキングしてください。
- ・ スピーカーの開口部分（グリル部）に直接物を当てないでください。異常音や故障の原因となります。
- ・ シンナーやベンジン、塩素系洗剤、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。キャビネットの塗装が変質したり、はがれたりするなどの原因となります。
- ・ キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとってください。

用意するもの

スイッチボックスを使って設置する場合

- ・ ベース部用の落下防止ワイヤー（落下の衝撃に対し十分強度があるワイヤー）を使用してください。推奨φ 1.5mm）
- ・ トラスねじ、もしくはバインドねじ（M4 × 35mm） 2 本

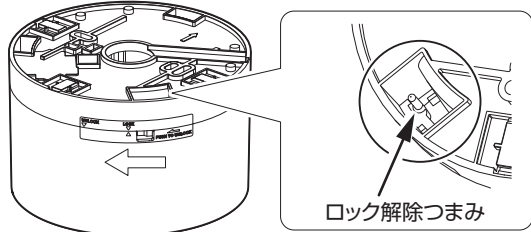
天井面に直接取り付けの場合

- ・ ベース部用の落下防止ワイヤー（落下の衝撃に対し十分強度があるワイヤー）を使用してください。推奨φ 1.5mm）
- ・ 頭部径 8.2mm 以上のφ 4 ねじ 2 本（設置される天井の材質に適したもの）

設置前の準備

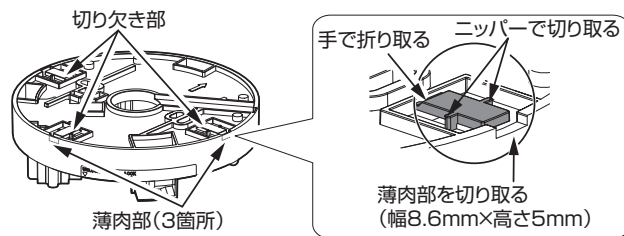
■ ベース部をフロント部から取りはずす

ベース部裏面のロック解除つまみ部分を内側に押し、ロックが解除します。ロック解除つまみ部を押しながら矢印の方向にまわし、ベース部をフロント部から取りはずしてください。



■ モールなどの配管を使用する場合

本機は、3方向からの配線に対応しています。モールなどの配管を使用して設置する場合は、ベース部にある切り欠き部をニッパーなどで切り取ります。

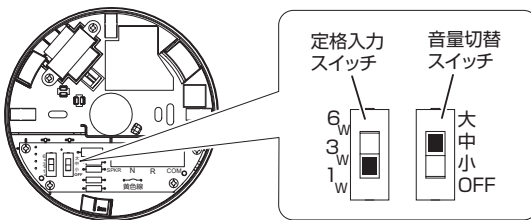


メモ:

- 切り欠き部分は 90 度または 180 度の、必要なところを切り取ってください。
- 折り取った部分にバリが出たときは、ケーブルを傷つけないようヤスリ処理または切り取ってください。

音量・定格入力を設定する

防滴モデルは、スイッチキャップをはずして切り替えます。



■ 定格入力を設定する

出荷時は「1W」に設定されています。「3W」、「6W」で使用する場合は、定格入力スイッチを切り替えます。

■ 音量を切り替える（アッテネータ付きモデルのみ）

出荷時は「大」に設定されています。音量切替スイッチで音量を設定してください。

減衰量

定格入力スイッチ	音量切替スイッチ			
	大	中	小	OFF
1W	0dB	-3dB	-8dB	—
3W	0dB	-6dB	-11dB	—
6W	0dB	-9dB	-15dB	—

ご注意:

- 定格入力スイッチを誤って設定すると、アンプが過負荷となって破損する場合があります。接続するスピーカーの合成インピーダンスがアンプの許容負荷インピーダンス以上になるようにしてください。
- 音量または定格入力を切り替えたあとは、必ずスイッチキャップを戻してください。（防滴モデルのみ）

ベース部の落下防止ワイヤーを取り付ける

ご注意:

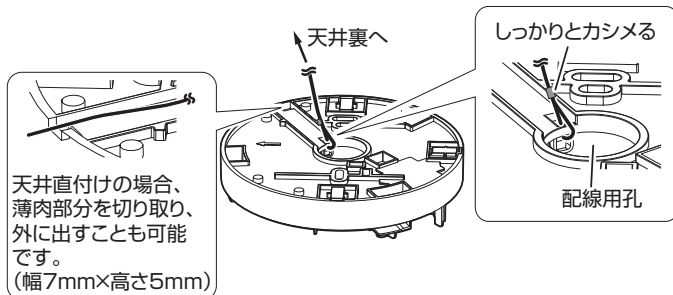
- 落下防止のため、確実に取り付けてください。
- 落下の衝撃に対し十分強度があるワイヤーを使用してください。（推奨φ 1.5mm）

1. 落下防止ワイヤーを棧などに取り付ける

本機の質量（アッテネータ無しモデル約 0.7kg、アッテネータありモデル約 0.71kg）に耐えられ、落下衝撃に対して十分強度がある棧などに取り付けます。

2. 落下防止ワイヤーを本体に取り付ける

反対側を、配線用孔の隣にある穴から入れ、配線用孔から出し、ベース部の本体の外側でカシメてください。

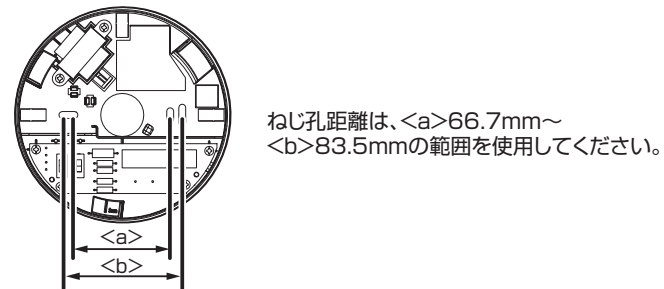


ご注意:

- ベース部用の落下防止ワイヤーを取り付けるときは、本機の中に引き込んだり余分なたるみが生じないようにしてください。

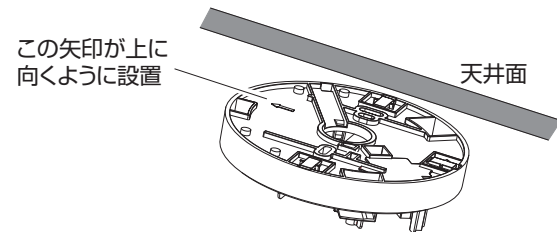
設置・接続

1. スイッチボックスまたは天井からスピーカーケーブルを引き出し、ベース部の配線用孔（φ 30mm）に通す
2. ベース部を、指定のねじを使って取り付ける



ご注意:

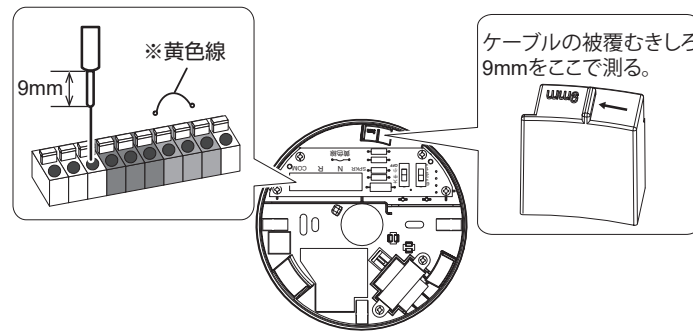
- スピーカーの前面を上に向けて設置しないでください。スピーカーの振動板に水が溜まり故障の原因となります。
- 傾きのある面に取り付ける場合は、本体に表示してある矢印が上にくるように設置してください。（防滴モデルのみ）



- 取り付け面の傾きが水平から 45° 以上の場所に設置しないでください。
- 天井面やモールとの隙間が大きいと、期待される防滴性能を得られません。直接雨にさらされる場所に設置する場合は隙間をコーキングしてください。

3. スピーカーケーブルを入力端子に接続する

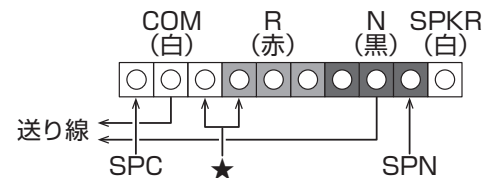
スピーカーケーブルの先端を下図のように処理し、接続します。電線はφ 0.8mm ~ 1.2mm を使用してください。スピーカーケーブルを抜くときは、プッシュボタンを押してから抜いてください。



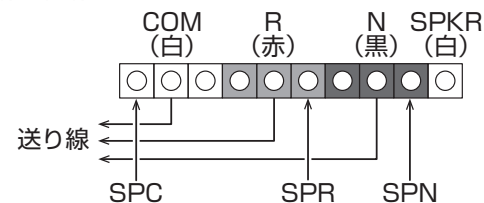
★印は、SB-C106AT、SB-HC106AT-W、SB-HC106AT-B（アッテネータ付き）のみ

①2 線式配線

※アッテネータ付きモデルは非常放送設備として利用不可

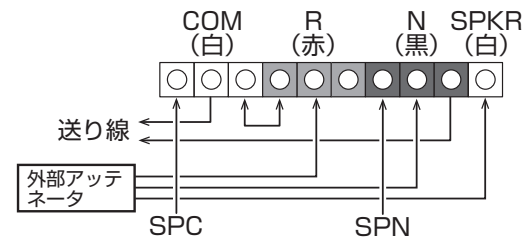


②3 線式配線



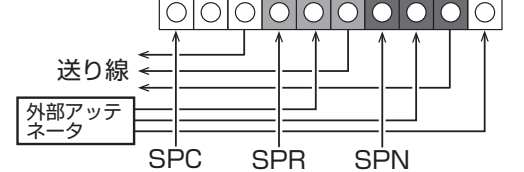
③2 線式配線（外部アッテネータを接続する場合）

※非常放送設備として利用不可
※黄色線を切断する



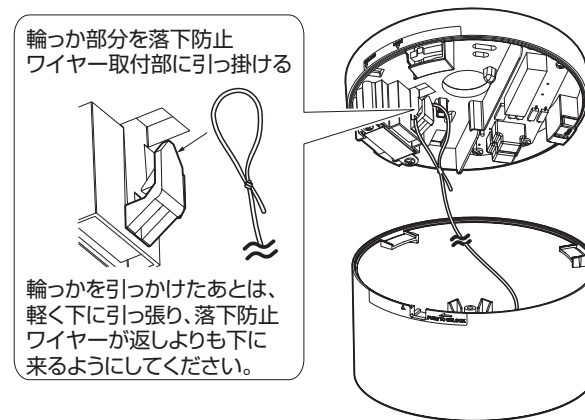
④3 線式配線（外部アッテネータを接続する場合）

※黄色線を切断する

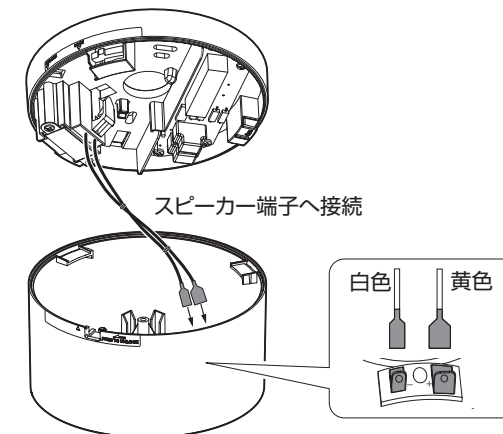


※切断した黄色線は、必ず絶縁処理を行ってください。

4. フロント部の落下防止ワイヤーをベース部の落下防止ワイヤー取付部にしっかりと取り付ける

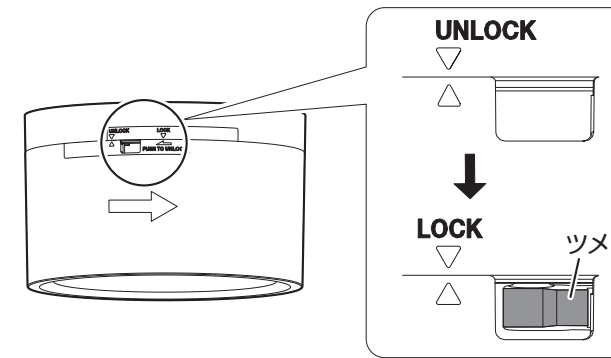


5. ベース部のスピーカーラインをフロント部のスピーカー端子に接続する



6. ベース部の▽マーク（UNLOCK）とフロント部の△マークを合わせて、ベース部の▽マーク（LOCK）の方向にまわし、ロックする

ツメ部分がしっかりとハマっていることを確認してください。窓部から確認することができます。



メモ:

- 設置後にロックをはずすときは、ツメ部分をドライバーなどで押し、フロント部を UNLOCK 側にまわしてください。